

大分県の財政状況

平成30年度版



ラグビーワールドカップ2019日本大会に向けてラグビー教室を楽しむ子どもたち



国民文化祭・おおいた2018キックオフイベントでのアート体験



目次

1. 大分県の概況

(1) 地図で見る大分県	1
(2) 大分県の日本一	2
(3) 大分県のトピックス	3
(4) 大分県の魅力 ～温泉～	4
(5) 大分県の魅力 ～食～	5
(6) 大分県の魅力 ～観光～	6
(7) 大分県の産業	7
(8) 大分県のアクセス	8

2. 大分県の財政状況

(1) 普通会計決算の概要	9
(2) 主要な決算指標	10

3. 行財政改革の状況

(1) 行財政改革の状況と成果	13
(2) さらなる財政改革の推進	14
(3) 財政調整用基金残高と県債残高の状況	15

4. 公営企業等の状況

(1) 公営企業決算の状況	16
(2) 地方公社の状況	17
(3) 県出資法人の状況	18

5. 市場公募債の発行計画

(1) 平成30年度 市場公募債発行計画	19
(2) 個別・共同発行市場公募債の発行実績	20



大分県応援団“鳥”の
「めじろん」

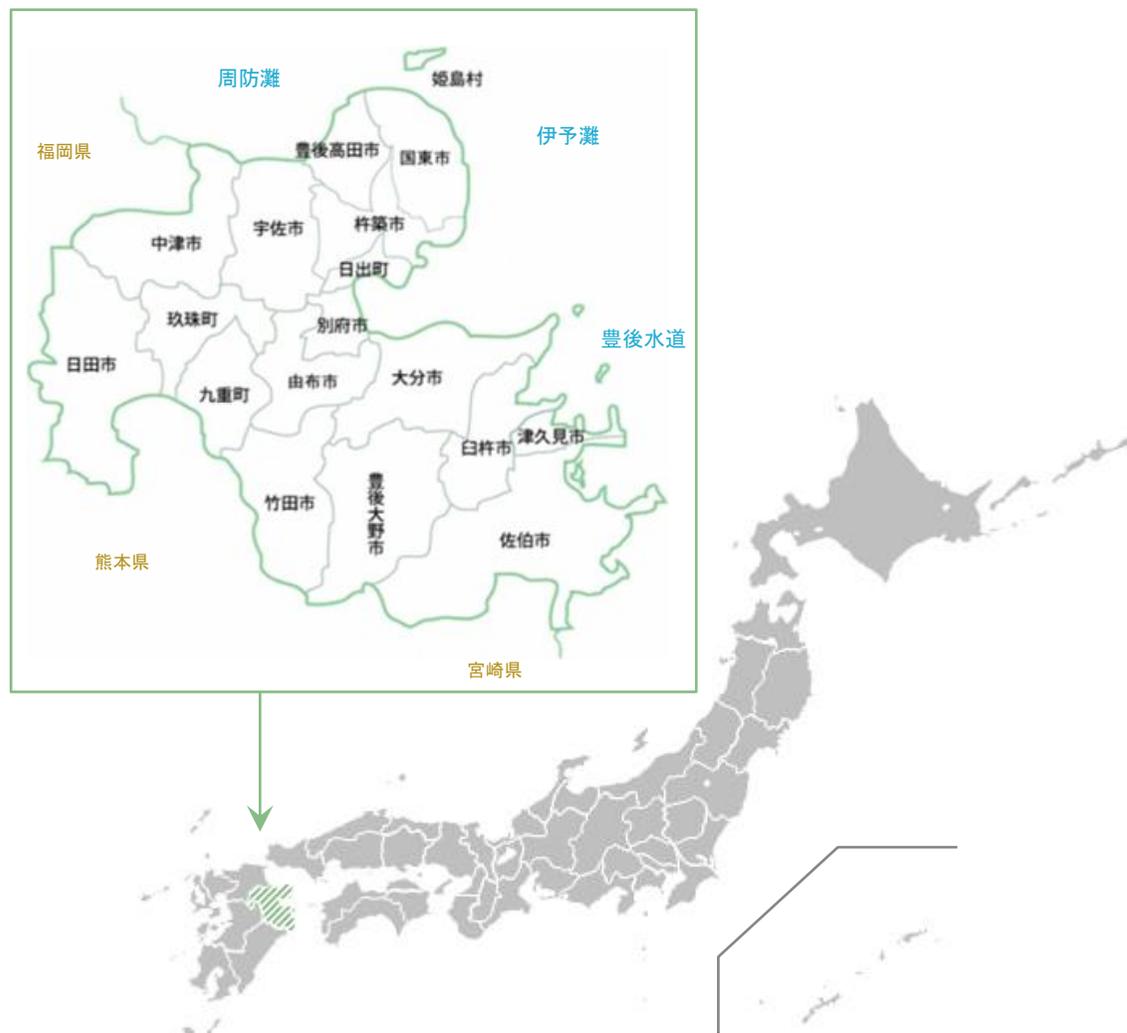
1. 大分県の概況

(1) 地図で見る大分県

大分県は「アジアの玄関口」である九州の北東部に位置しており、北側は周防灘、東側は伊予灘・豊後水道に面している。

大分県の概要

項目	概要	順位
人口 ^{*1}	116.6万人	九州6位、全国33位
面積 ^{*1}	6,341 km ²	九州4位、全国22位
市町村数 ^{*2}	18市町村 (14市3町1村)	九州1位、全国4位 (少ない方から)
耕地面積 ^{*3}	55,600ha	九州5位、全国26位
県内総生産 ^{*4}	4兆3,782億円	九州5位、全国33位
漁業生産額 ^{*5}	37,380百万円	九州4位、全国12位
人口10万人あたり 留学生数 ^{*6}	304.2人	九州1位、全国2位



*1: 総務省・国勢調査、平成27年

*2: 総務省・e-Stat、平成30年6月20日時点

*3: 農林水産省・面積調査、平成29年7月15日時点

*4: 内閣府・県民経済計算、平成27年

*5: 農林水産省・漁業産出額、平成28年

*6: 日本学生支援機構・外国人留学生在籍状況調査、平成29年度

(2) 大分県の日本一

天然自然が豊かであり、温泉源泉総数・湧出量や再生可能エネルギー自給率などが日本一。特産品ではカボス・乾しいたけなどが代表的。



温泉源泉総数 温泉湧出量
4,342孔 279kl/分
(平成27年度末) (平成27年度末)



再生可能エネルギー自給率
38.0%(平成28年度末)



県指定有形文化財(建造物)
208件(平成29年5月1日現在)



石灰石生産量
25,673千t(平成28年度)



乾しいたけ生産量
1,144t(平成28年)



サフラン(花芯)生産量
18kg(平成27年)



カボス生産量
6,000t(平成28年)



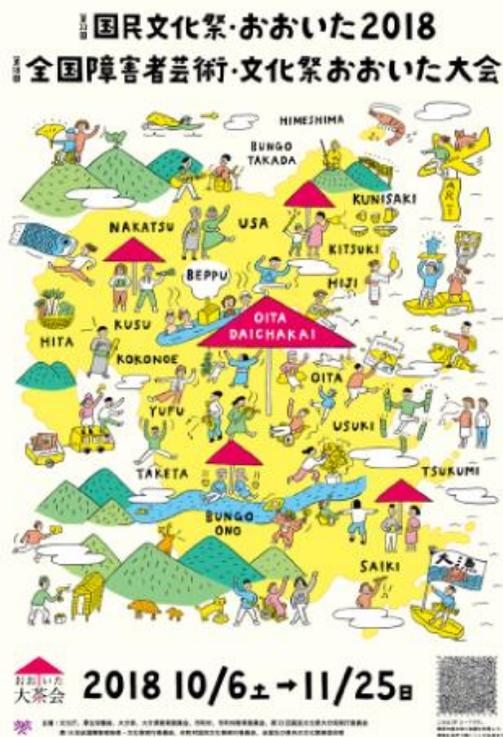
ホオズキ算出額
273,527千円(平成27年)

(3) 大分県のトピックス

2018年は、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭が県内で開催予定。2019年にはラグビーワールドカップの開催を控えている。

第33回国民文化祭・おおいた2018 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会

- 文化活動を全国的規模で発表、競演、交流する場である、国内最大の文化の祭典「国民文化祭」は、2018年は大分県で開催。ポスターなどの画像は、日本各地から大分県へ人々が集まり、ともに楽しみながら創り上げていく文化祭がイメージされている



ラグビーワールドカップ2019

- ラグビーワールドカップ2019は全48試合が予定されている中、大分スポーツ公園総合競技場では5試合が開催予定(全12会場のうち、3番目に多い試合数)



大分県応援団「鳥」めじろん(ラグビー)



大分スポーツ公園総合競技場(収容人数・40,000人)

(4) 大分県の魅力 ～温泉～

「日本一のおんせん県おおいた ㊦ 味力(みりょく)も満載」というキャッチフレーズのもと、PR活動を展開している。



平成25年11月、大分県の観光PRキャッチフレーズ「おんせん県おおいた」と、湯おけのロゴマークを商標登録。このキャッチフレーズとロゴマークを活用し、温泉をはじめ、観光と食の魅力在全国にPR活動を展開

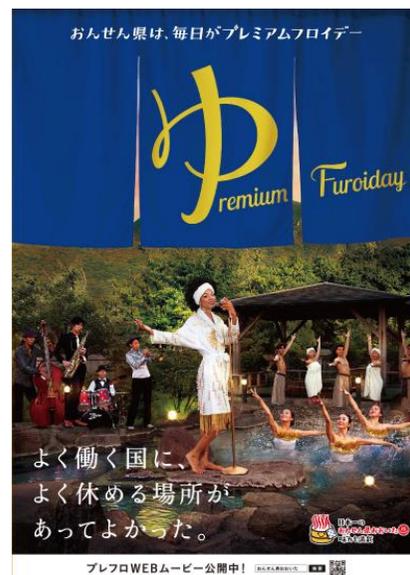
シンフロ

- シンクロナイズドスイミングのチームが大分県内の温泉で演技を行う「シンフロ」は、PR動画がギャラクシー賞CM部門選奨など複数の賞を受賞。続編「ゆけ、シンフロ部！」は平成29年12月に小説化された



プレミアムフライデー

- 「休めるときは、休みをもっと実感しましょうよ」をテーマに、休みをより実感させる場所として「日本一のおんせん県おおいた」をPR。プレミアムフライデーのPR動画は、第7回観光映像大賞(観光庁長官賞)にノミネートしている



(5) 大分県の魅力 ～食～

豊かな自然に恵まれた本県には、肉・魚料理や郷土料理など、食文化についても魅力が満載。焼酎も名産品のひとつ。

肉



とり天

県内全域で親しまれている、定番の郷土料理であり、家庭の味でもある



おおいた豊後牛

まろやかでとろけるような味わいが特長で「内閣総理大臣賞」を受賞した最高傑作^{*1}

海鮮



関あじ・関さば

速吸の瀬戸と呼ばれる豊予海峡の急流に育った、全国にファンを持つ「関もの」



りゅうきゅう

大分の海でとれた新鮮な魚を、醤油・みりんなどで作ったタレに浸け込む郷土料理

汁物・めん類



だんご汁

味噌仕立ての汁を基に、だんごや野菜を入れて作る、大分の代表的な郷土料理



豊後高田そば

毎年5月にはそば祭りが開催されており、大鍋で作る1,000人分のそばが名物

焼酎

- 麦焼酎も本県の名産品のひとつであり、県別売上高では全国3位の水準を誇っている^{*2}
- 本県は、全国的に知られるブランドを持つ製造元を擁している。売上高ランキングでは、全国2位・5位に本県の企業がランクインしている



焼酎メーカー売上高ランキング^{*2}

順位	会社名	主力ブランド	所在地
1	霧島酒造	黒霧島	宮崎県
2	三和酒類	いいちこ	大分県
3	オエングループ	鍛高譚	東京都
4	雲海酒造	雲海	宮崎県
5	二階堂酒造	大分むぎ焼酎 二階堂	大分県
：	：	：	：

*1: 第11回全国和牛能力共進会(平成29年)

*2: 帝国データバンク、2017年

(6) 大分県の魅力 ～観光～

大分県には多数の観光地が点在。外国人の県内宿泊者数は上位に位置しており、昨年度からの伸び率は全国1位。

- 大分県には、温泉・食以外にも魅力的な観光スポットが多くあり、とりわけ外国からの観光客の増加が顕著
- 平成28年4月の熊本地震以降、政府の観光支援策「九州ふっこう割」を契機に観光客数はV字回復が続いており、昨年度比で+67.7%となった
- アクセスの良さなどを背景に、特に韓国からの旅行者が多い点の特徴の一つ

外国人延べ宿泊者数ランキング*1

順位	都道府県	延べ宿泊者数
：	：	：
11	静岡県	1,501,920人
12	大分県	1,386,930人
13	長野県	1,289,960人
：	：	：

外国人延べ宿泊者数伸び率ランキング*1

順位	都道府県	前年比	延べ宿泊者数
1	大分県	+67.7%	1,386,930人
2	福島県	+65.2%	130,300人
3	青森県	+62.5%	260,330人
：	：	：	：

*1: 宿泊旅行統計調査(観光庁、平成29年・年間値(確定値))



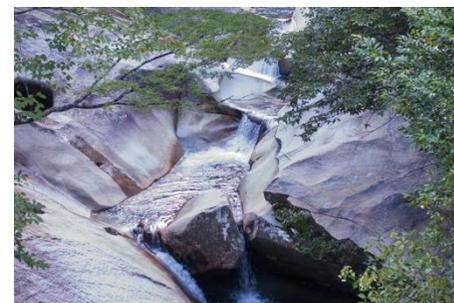
高崎山自然動物園(大分市)
野生のサルに餌付けをしており
現在は1,230頭のサルが生息



耶馬溪(中津市)
日本新三景・国名勝・日本遺産の
3タイトルに輝いている絶景スポット



日田祇園祭(日田市)
絢爛豪華な山鉦が祇園囃子の音色とともに巡行
ユネスコの無形文化資産に指定



藤河内溪谷(佐伯市)
巨大な花崗岩の一枚岩からなる奇観
「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」にも認定



真玉海岸(豊後高田市)
日本の夕日百選に選ばれており
干潟に空模様が映りこむ風景が特徴



原尻の滝(豊後大野市)
「日本の滝100選」「大分県百景」の
ひとつにあげられている名瀑



湯の坪街道(由布市)
由布岳を眺めることのできる
湯布院温泉の中心地



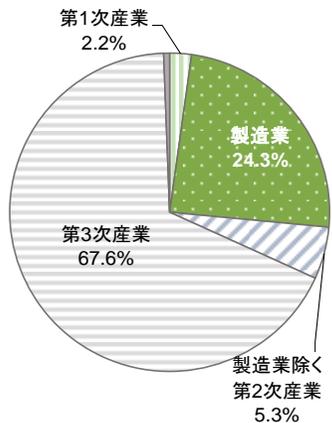
九重夢大吊橋(九重町)
ダイナミックな景観・スリルが味わえる橋で
歩道専用としては「日本一」の高さを誇る

(7) 大分県の産業

製造業の比率の高さは九州1位。産業集積や県内への企業誘致を推進しており、平成29年度は55企業を誘致(過去最多)。

産業構造^{*1}

- 県内総生産のうち製造業が占める割合は高く、九州では1位の水準



製造品出荷額等ランキング^{*2}

- 他県に比べると、人口総数の割に製造品出荷額等が高い水準となっている

順位	都道府県	製造品出荷額等	【参考】 県内人口
：	：	：	：
22	福島県	4.83兆円	191.4万人 (21位)
23	新潟県	4.69兆円	230.4万人 (15位)
24	宮城県	4.11兆円	233.4万人 (14位)
25	愛媛県	3.81兆円	138.5万人 (28位)
26	大分県	3.69兆円	116.6万人 (33位)
：	：	：	：

企業誘致件数の推移

- 支援制度の拡充に取り組んできた結果、平成29年度には過去最多となる55件の企業誘致に成功



*1: 内閣府・県民経済計算、平成27年

*2: 経済産業省・工業統計調査、平成26年

大分県内における産業集積の状況

- 大分県内には、鉄・化学・石油などの素材型産業や、半導体・自動車などの高度加工組立型産業といった幅広い分野の産業がバランスよく集積している

【企業例】

大分キャンノン、ダイハツ九州、新日鐵住金、サッポロビール、TOTO、ソニーなど

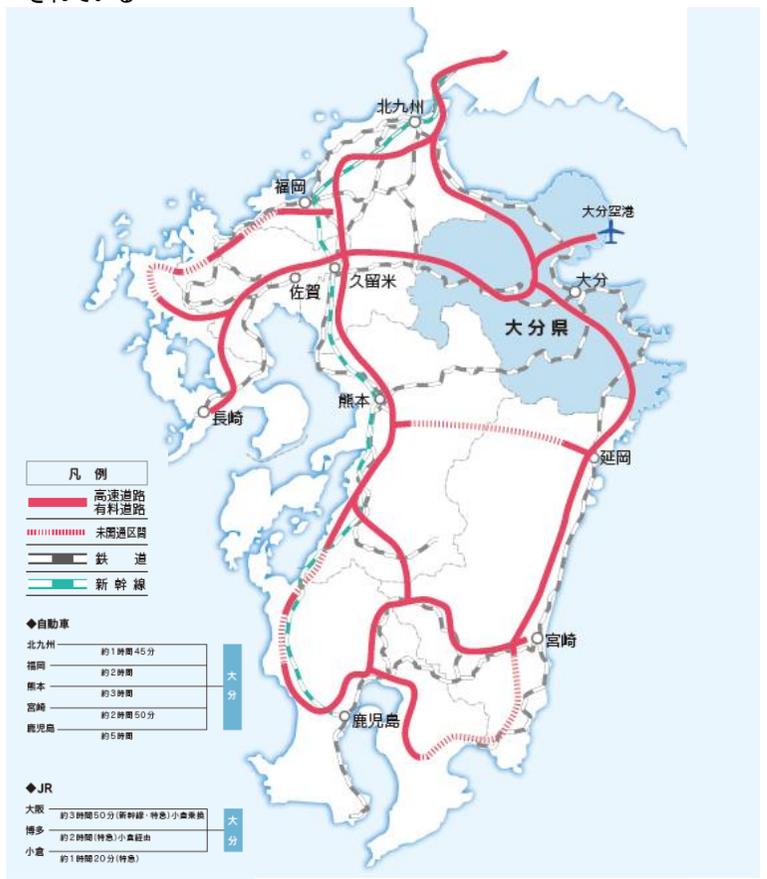


(8) 大分県のアクセス

本県では、「九州の東の玄関口としての拠点化戦略」を策定しており、人の流れ・物の流れの拠点づくりに取り組んでいる。

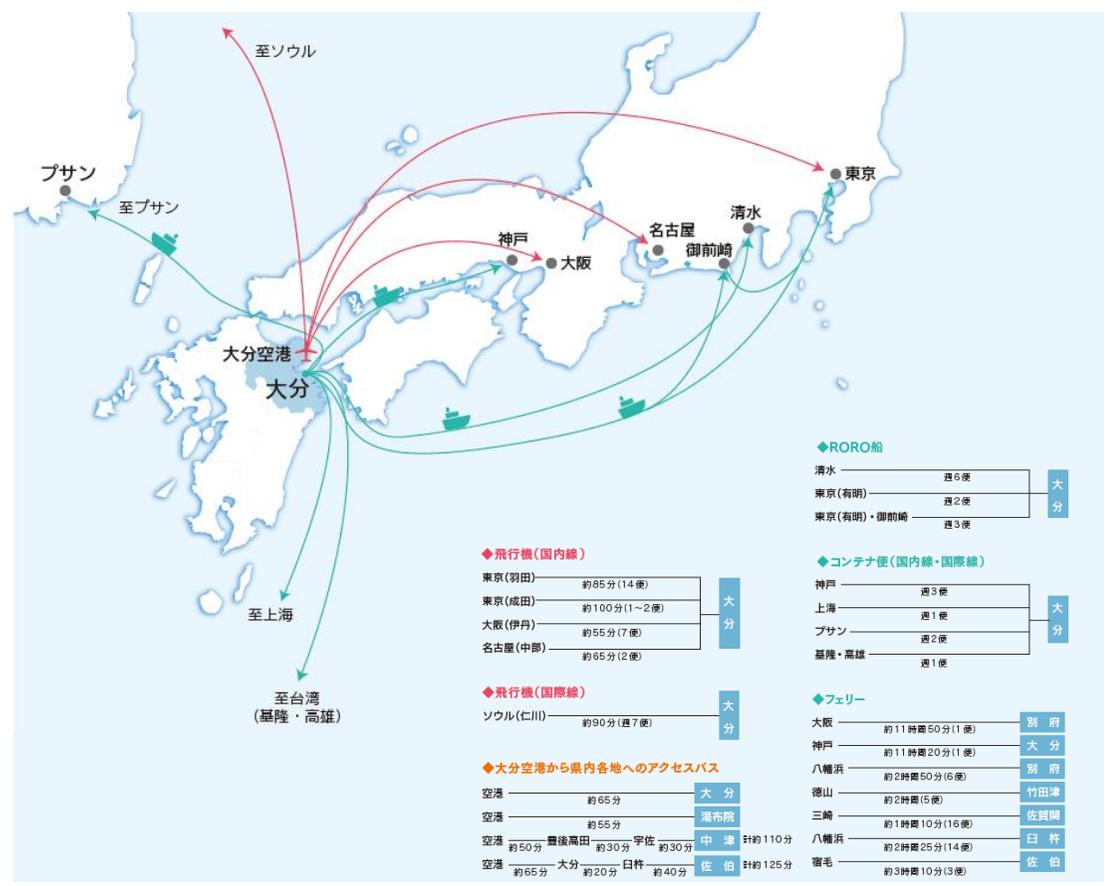
九州内でのアクセス

- 福岡県・熊本県・宮崎県と隣接しており、東西・南北方向に交通網が整備されている



大分空港・大分港から本州および外国へのアクセス

- 航空路線やフェリーなども巡航しており、東京・名古屋・大阪のほか、ソウルにもアクセスが可能



2. 大分県の財政状況

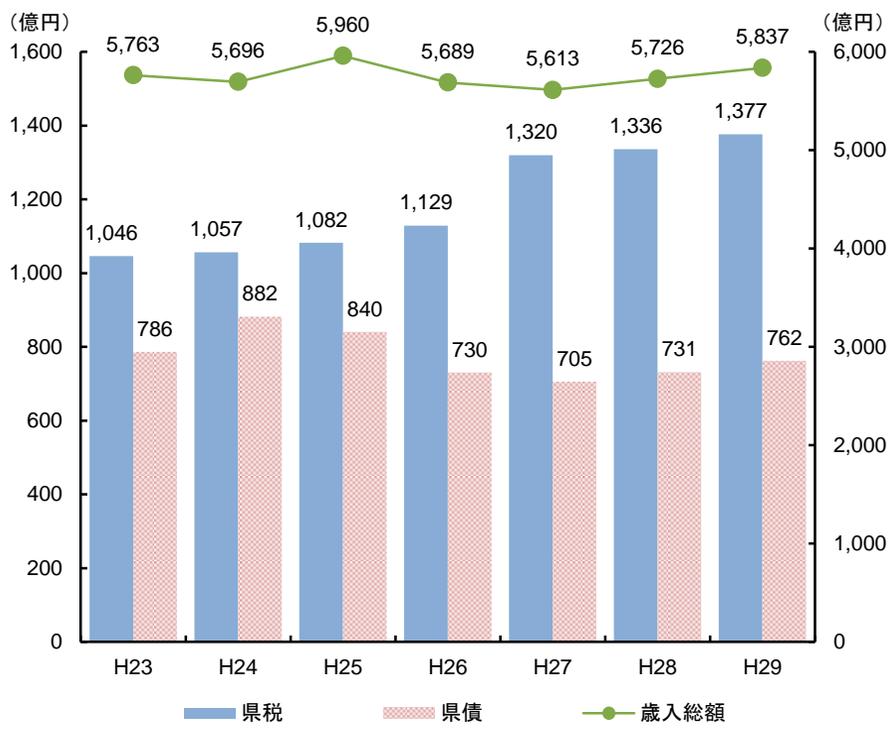
(1) 普通会計決算の概要

九州北部豪雨及び台風第18号災害等からの復旧・復興事業や、「安心・活力・発展プラン2015」の積極的な施策推進などにより、歳入歳出規模は前年度に引き続き増加。

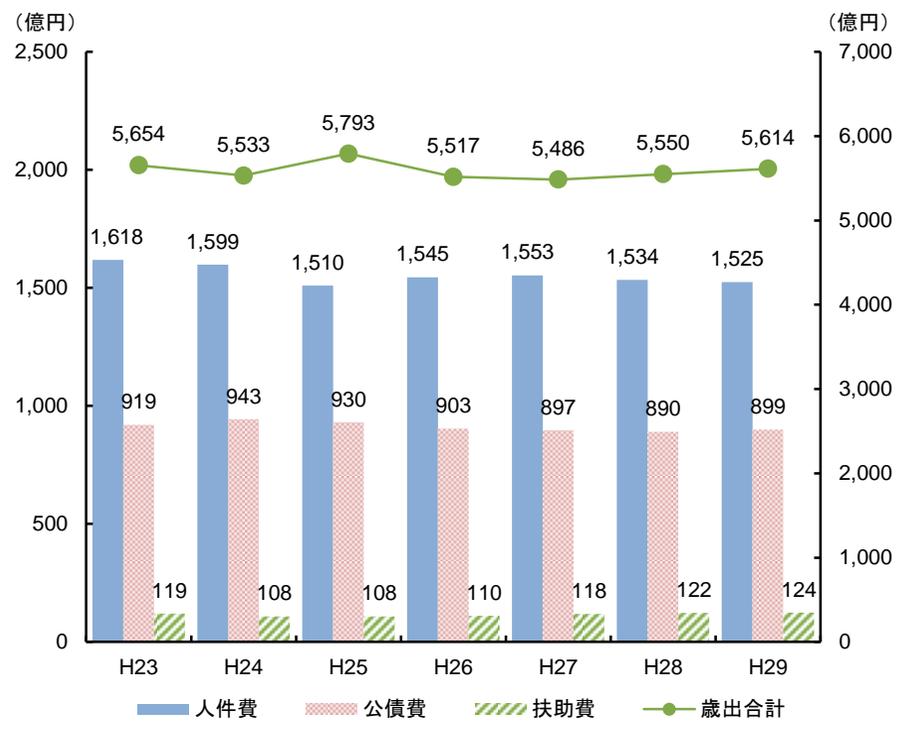
(単位: 百万円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実質収支	2,615	2,502	2,536	2,760	2,846	2,769	3,150
単年度収支	64	△113	34	224	86	△77	381

歳入



歳出

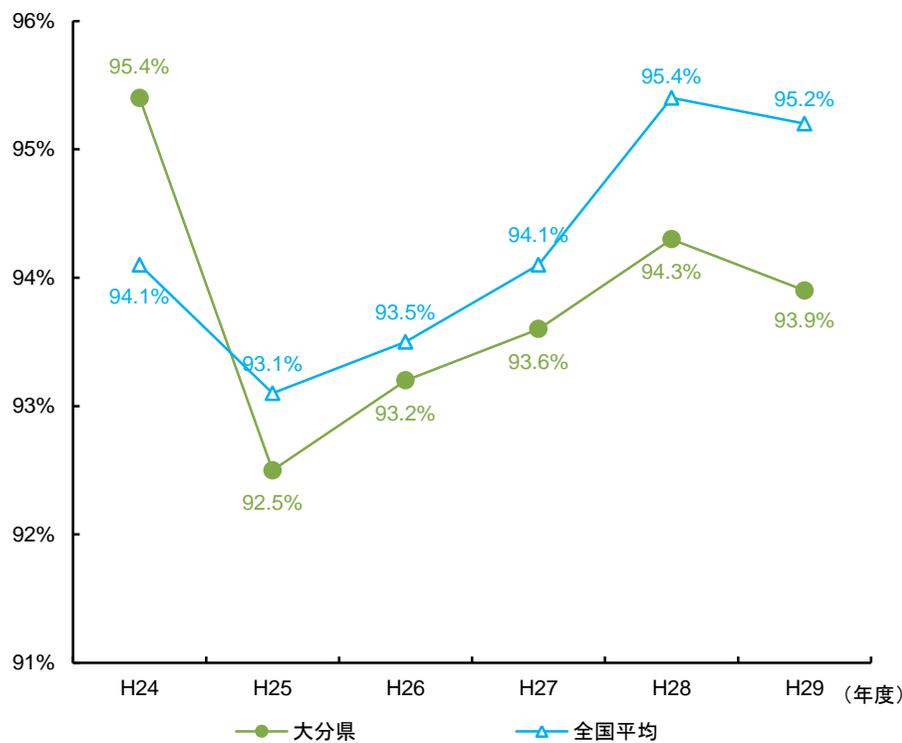


(2) 主要な決算指標①

経常収支比率は4年ぶりに改善。公債費は緩やかな減少基調となっており、プライマリーバランスは黒字を堅持。

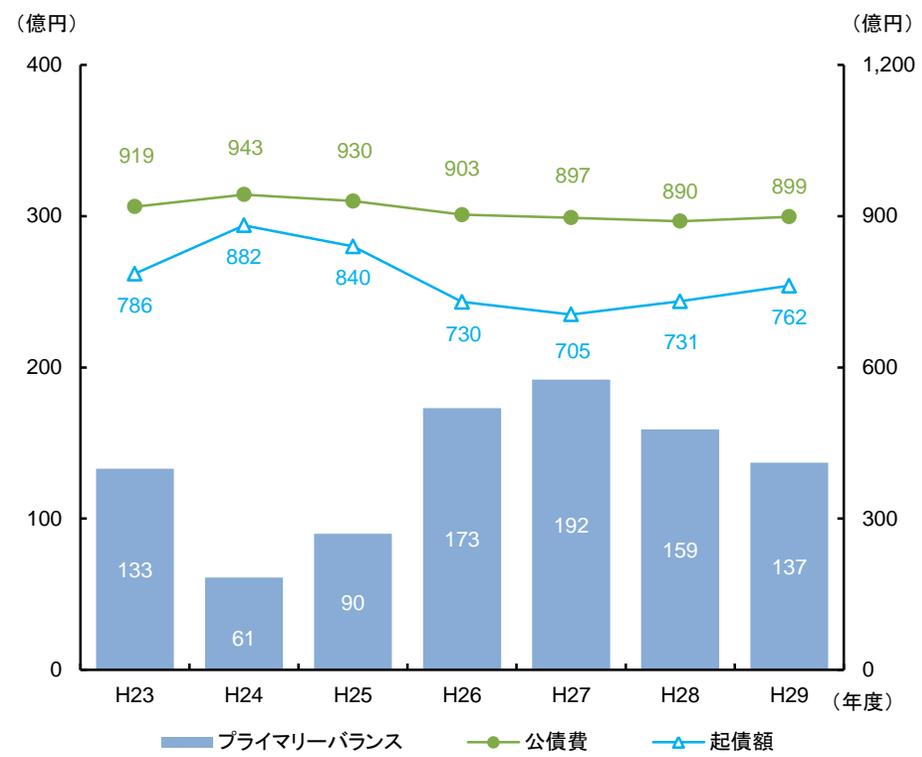
経常収支比率の状況

- 財政構造の弾力性を示しており、低ければ低いほど財政運営に弾力性があり良いとされる経常収支比率は、社会保障施策の充実による経費の増加などにより上昇傾向にあるが、平成25年度以降は全国平均を下回って推移している
- なお、平成29年度は県税が増加するとともに、人件費等の義務的経費が減少したことにより、わずかに改善



プライマリーバランスの状況

- 交付税の振り替わりである臨時財政対策債の増発を余儀なくされているが、プライマリーバランスは黒字を堅持している



*1: 平成29年度の全国平均については、大分県調べによる。

(2) 主要な決算指標②

財政健全化4指標は、いずれも早期健全化基準以下。

財政健全化4指標の状況

指標	大分県		都道府県平均 (平成28年度)	早期健全化 基準	財政再生 基準
	平成29年度	平成28年度			
実質公債費比率	10.0%	11.3%	11.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	162.0%	159.3%	173.4%	400.0%	—
実質赤字比率 ^{*1}	△1.00%	△0.84%	—	3.75%	5.00%
連結実質赤字比率 ^{*2}	△5.83%	△5.16%	—	8.75%	15.00%

実質公債費比率

- 県税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額(普通交付税が措置されるものを除く)に充当されたものの占める割合の前三年度の平均値。

将来負担比率

- 地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、県の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率。県の一般会計等の借入金(県債)や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来の財政を圧迫する可能性の度合いを示した指標である。

実質赤字比率

- 県の一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模(県の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を示すもの)に対する比率。

連結実質赤字比率

- 公営企業会計を含む県の全会計を対象とした実質赤字額又は資金の不足額の標準財政規模に対する比率。全ての会計の赤字や黒字を合算し、全体としての赤字の程度を指標化し、県全体としての財政運営の悪化の度合いを示した指標である。

*1: 赤字額はないため、黒字額による参考比率を負の数で表示

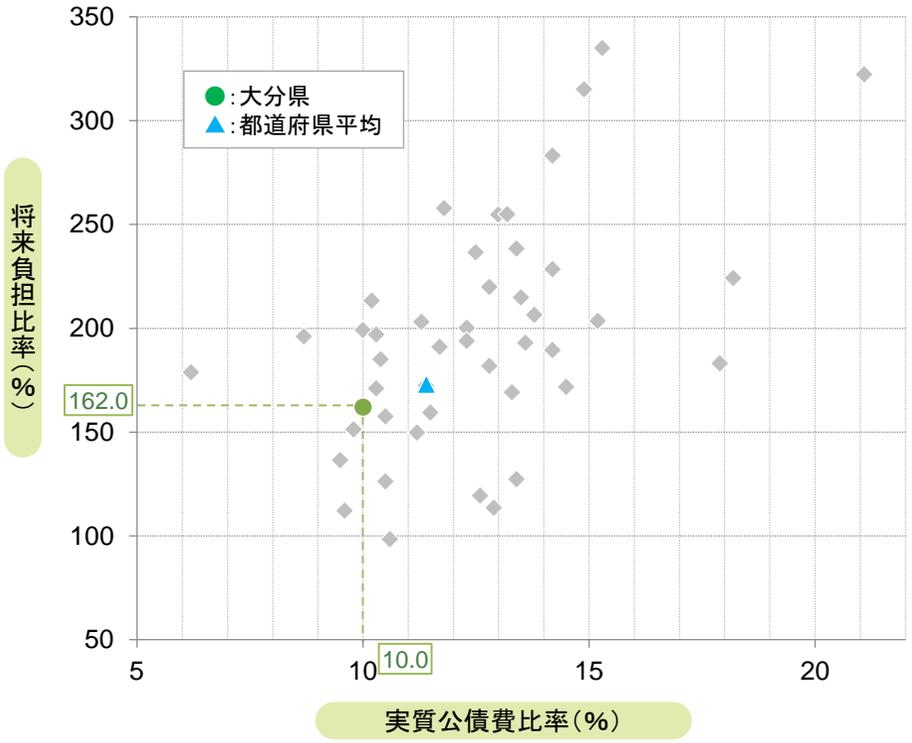
*2: 赤字額はないため、黒字額及び資金剰余額による参考比率を負の数で表示

(2) 主要な決算指標③

各都道府県の比較では、都道府県平均よりも優位に位置しており、毎年度着実に改善も進んでいる。また本県では実質赤字は生じていない。

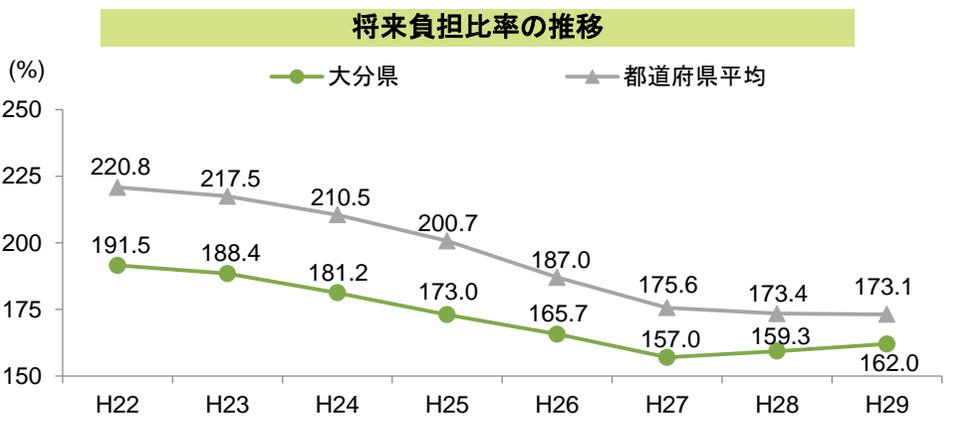
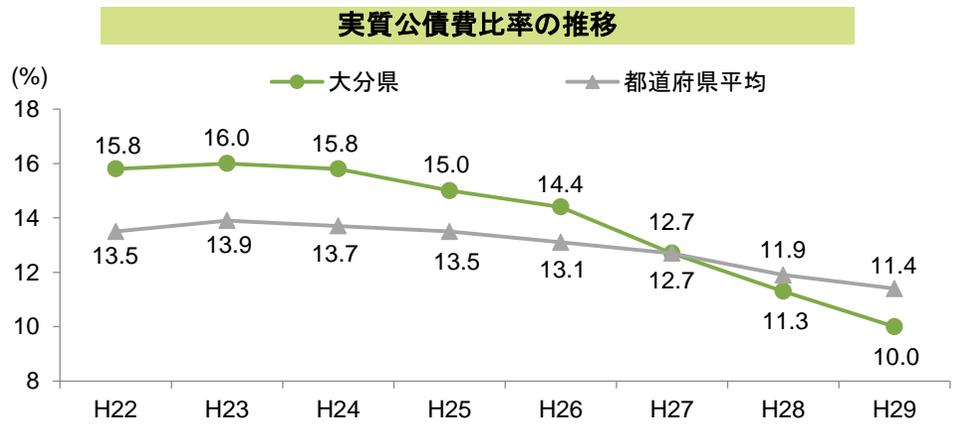
各都道府県との比較^{*1}

- 実質公債費比率・将来負担比率ともに、大分県は都道府県平均よりも優位に位置している



各指標の推移^{*2}

- 実質公債費比率・将来負担比率ともに、着実に改善が進んでいる



*1: 東京都を除く全都道府県を掲載、平成29年度
 *2: 平成29年度の都道府県平均は速報値

3. 行財政改革の状況

(1) 行財政改革の状況と成果

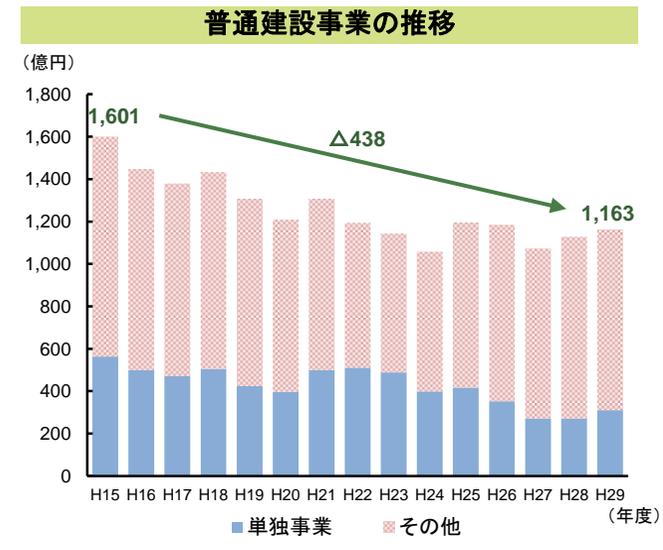
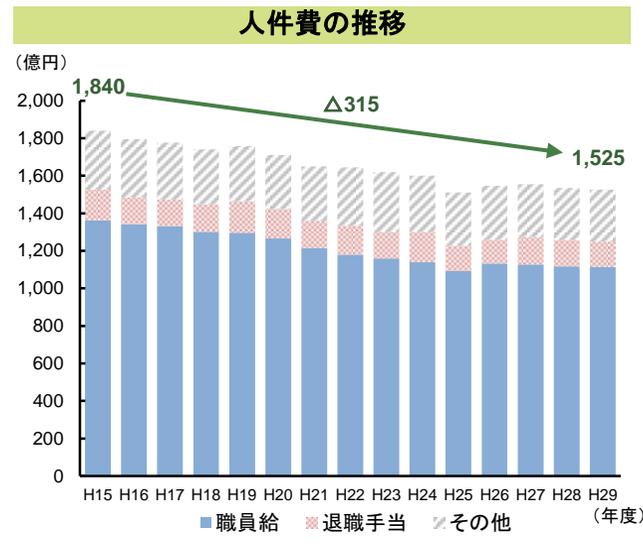
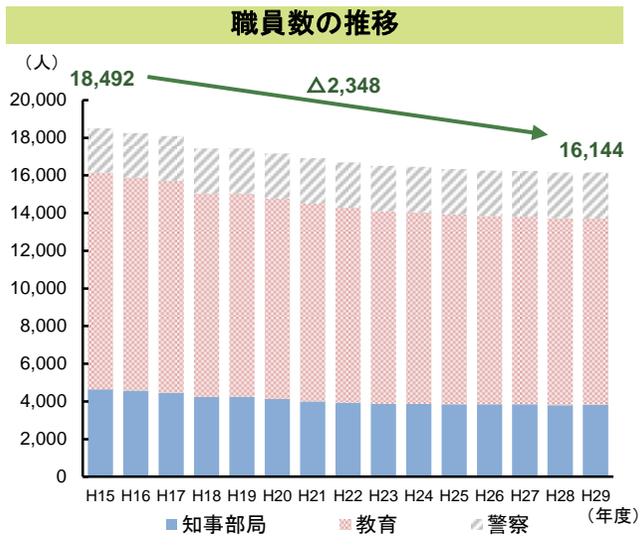
「大分県行財政改革アクションプラン」(次頁に記載)を基に行財政改革に取り組んでおり、着実に成果が見られている。

行財政改革の状況

- 平成16～20年度の「行財政改革プラン」では、目標(1,455億円)を上回る1,835億円の収支を改善
- 平成21～23年度の「中期行財政運営ビジョン」では、定数削減や財政構造の改革を行い、さらなる収支改善を実現(財政調整用基金455億円確保(420億円の増積)、県債残高目標より233億円の削減)
- 平成24～27年度の「行財政高度化指針」に基づき、行政の「質」の向上と「行革実践力」の発揮を主眼とする行財政改革を継続(財政調整用基金433億円確保、県債残高1兆403億円(対前年△84億円))

行財政改革の成果

- 職員数は平成15年度から29年度までに、2,348人削減(△12.7%)。その結果、人件費は平成15年度との比較で315億円減少(△17.1%)
- 普通建設事業費は、防災・減災対策事業の増加に伴い、前年度に比べ56億円増加した。平成15年度との比較では438億円の削減(△27.4%)



(2)さらなる財政改革の推進

大分県では、平成27年10月に『行財政改革アクションプラン』を策定し、具体的な取組策を提示した上で更なる財政改革を推進している。

課題

これまで同様の歳入確保・節減に取り組んでも財政調整用残高が減少の見込み

方向性

より一層の行政改革に取組、行政基盤の強化を図ることが必要

大分県行財政改革アクションプラン(平成27年10月策定)

- 計画期間:平成28～平成31年度
- 基本目標:新長期総合計画を支える財政基盤の強化
 - － 平成31年度末の財政調整用基金残高324億円を確保
 - － 平成31年度末の県債残高総額1兆300億円まで抑制(臨時財政対策債除きで6,150億円)

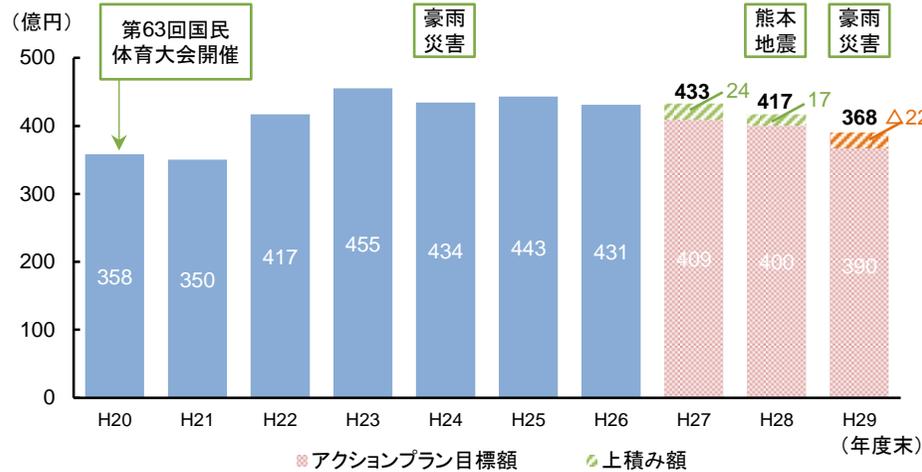
具体的な取組の内容

1 歳入の確保	2 歳出の見直し	3 資産マネジメントの強化	4 組織の見直し、人材の育成活用	5 多様な主体との連携協力の推進
<ul style="list-style-type: none">● 県税収入のさらなる確保● 税外未収債券管理強化● 基金の見直し● 有利な財源確保	<ul style="list-style-type: none">● 事務事業の見直し● 総人件費の抑制● 社会保障関係費適正化● 公債費の抑制● 公営企業の健全運営、あり方を見直し● 危機に対応できる機動的な行財政運営	<ul style="list-style-type: none">● 県有財産の利活用推進● 公共施設等総合管理● 公の施設等を見直し	<ul style="list-style-type: none">● 組織、機構の見直し● 公社等外郭団体等を見直し● 人材の育成と活用● 職員の意識改革と業務効率化	<ul style="list-style-type: none">● NPO等民間との協力の推進● 市町村との連携● 県を越えた広域連携

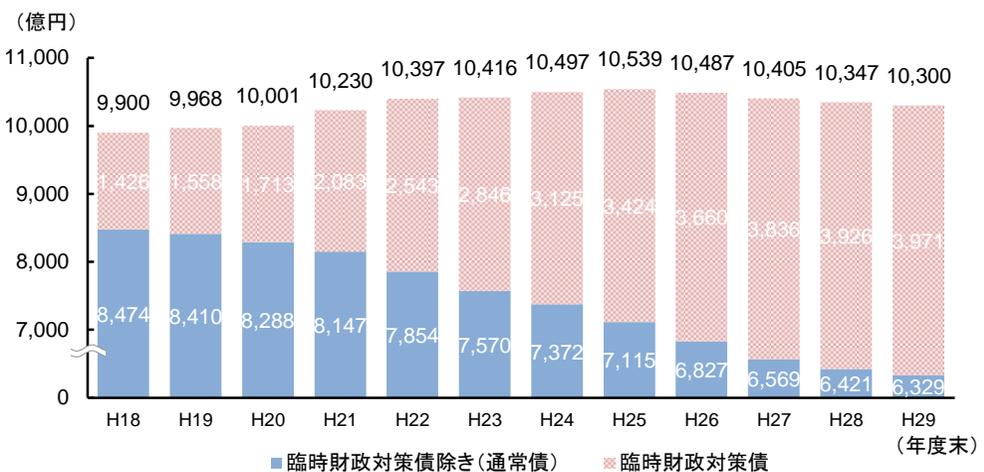
(3) 財政調整用基金残高と県債残高の状況

財政調整用基金は、度重なる豪雨災害に対応したことから、行財政改革アクションプラン目標額より低下(平成29年度時点)。
 県債残高は、決算ベースで4年連続の減少となっている。

財政調整用基金残高の状況



県債残高の状況



平成29年度末 財政調整用基金390億円
 (行財政改革アクションプラン目標額)



実績額368億円 (△22億円)

県債残高は決算ベースで4年連続減少
 通常債(臨時財政対策債²を除く県債)の残高も一貫して減少(16年連続)



国の財源不足対策として臨時財政対策債の増発を余儀なくされる中、
 「事業の選択と集中」による事業費の縮減や交付税措置のない県債の
 発行抑制に努めているため

財政調整基金 + 減債基金の合計残高(普通会計ベース)の比較¹

対象	残高(平成29年度末) (百万円)	標準財政規模 (百万円)	標準財政規模に 対する割合
大分県	37,086	327,998	11.3%

¹: 368億円との差額は、ふるさと融資の償還差分を減債基金に積み立てたもの
²: 地方交付税の振り替わりに発行する地方債であり、その全額が後年度に交付税措置される

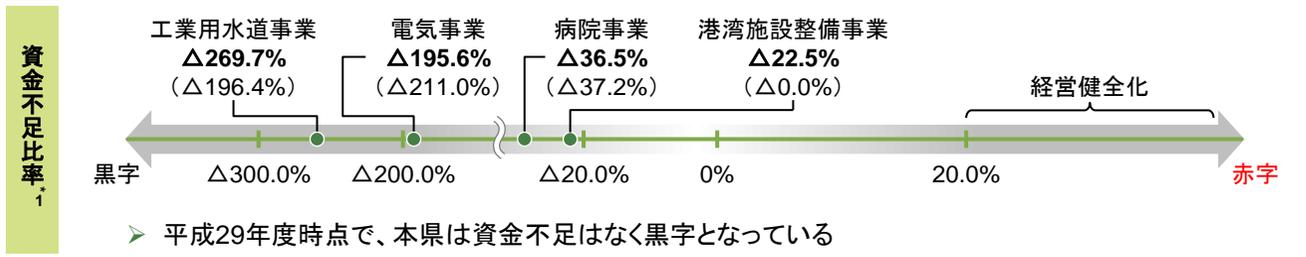
4. 公営企業等の状況

(1) 公営企業決算の状況

工業用水道事業、電気事業、病院事業いずれも黒字経営を継続。経営健全化指標である資金不足比率は、資金の不足がなく、いずれも黒字。

(単位:百万円)

区分	工業用水道事業		電気事業		病院事業			
	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度		
貸借対照表	資産の部	24,440	25,040	19,139	19,717	19,274	17,937	
	固定資産	18,569	20,178	13,806	13,422	10,753	10,116	
	流動資産	5,870	4,862	5,333	6,295	8,521	7,821	
	【繰延資産】							
	負債の部	7,040	8,102	3,372	4,439	15,199	14,717	
	固定負債	2,675	3,088	1,892	2,227	8,542	8,198	
	流動負債	827	1,314	1,290	2,014	3,741	3,813	
	繰延収益	3,537	3,700	190	198	2,916	2,706	
	資本の部	17,400	16,938	15,767	15,278	4,076	3,220	
	資本金	14,232	13,650	13,123	12,281	1,137	1,137	
	【借入資本金】							
	剰余金	3,168	3,288	2,644	2,997	2,939	2,083	
	負債・資本合計	24,440	25,040	19,139	19,717	19,274	17,937	
	損益計算書	総収益	2,227	2,239	2,340	2,337	16,968	16,016
		営業(医業)収益	2,005	2,012	2,230	2,234	15,766	14,791
営業(医業)外収益		222	227	110	103	1,180	1,208	
特別利益						22	17	
総費用		1,665	1,587	1,802	1,940	16,113	15,335	
営業(医業)費用		1,603	1,506	1,733	1,874	15,396	14,542	
営業(医業)外費用		62	81	69	66	716	792	
特別損失						1	1	
純損益	562	652	539	396	855	681		



- 資金不足比率とは、公営企業会計ごとの資金の不足額(流動負債の額から流動資産の額を控除した額)の事業の規模に対する比率
- 公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示した指標である

*1: 太字は平成29年度数値、括弧内は平成28年度数値

(2) 地方公社の状況

県の「将来負担比率」に算入されるべき公社に対する債務保証・損失補償はない。

- 県の有料道路の無料化により、道路公社は平成23年1月末で解散している(全国4例目)。

(単位:百万円)

区分		大分県土地開発公社		大分県住宅供給公社		
		平成29年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度	
出資状況	出資団体数	1	1	1	1	
	出資金額	総額	30	30	10	10
		本県	30	30	10	10
その他団体		0	0	0	0	
貸借対照表	資産	流動資産	5,628	5,803	772	822
		固定資産	267	272	2,372	2,381
		繰延資産	0	0	0	0
		資産合計	5,895	6,075	3,144	3,203
	負債	流動負債	4,024	2,509	311	296
		固定負債	359	2,075	836	965
		特別法上の引当金等				
		負債合計	4,383	4,584	1,147	1,261
	資本	資本金	30	30	10	10
		剰余金			1,987	1,932
		法定準備金	1,482	1,461		
		資本合計	1,512	1,491	1,997	1,942
負債・資本合計		5,895	6,075	3,144	3,203	
損益計算書	経常損益	営業収益(a)	3,263	2,044	1,098	1,106
		営業費用(b)	3,239	2,044	958	947
		一般管理費(c)	8	46	53	54
		営業利益(d = a - b - c)	16	△46	87	105
		営業外収益(e)	7	6	1	1
		営業外費用(f)	1	1	33	51
		経常利益(g = d + e - f)	22	△41	55	55
	特別損益	特別利益(h)			1	10
		特別損失(i)	1		1	29
		特定準備金計上前利益(j = g + h - i)	21	△41	55	36
		特定準備金取崩(k)				
		特定準備金繰入(l)				
		法人税等(m)				
当期利益(n = g + h - i - m)		21	△41			
(住宅供給公社) (n = j + k - l - m)				55	36	

(3) 県出資法人の状況

県の出資比率が50%以上である団体等の、平成29年度の財務状況は以下の通り。

- 出資比率50%以下の団体についても、「公社等外郭団体に対する指導指針」を平成21年9月に策定し、県関与の状況や財務状況等を確認し、結果をホームページで公表している。

(単位:百万円)

団体名	業務概要	基本財産・出資金		貸借対照表			損益計算書		
		うち 県出資額	純資産 または 正味資産 (A-B)	総収益 または 当期収入額 合計	当期経常損益 または 当期正味財産 増減額	資産合計		負債合計	
						(A)	(B)	(A)	(B)
(公財)大分県自治人材育成センター	県内自治体職員に対する研修の実施等	6	3	705	3	702	121	△27	
(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団	県有施設の維持管理及び文化事業の企画・実施	547	547	1,035	170	866	1,097	59	
(株)大分高速鉄道保有	鉄道施設の改良工事及びその施設の貸付	238	196	382	330	52	58	6	
(株)大分ブランドクリエイト	大分県フラッグショップの経営	95	50	77	23	54	173	2	
(公財)大分県総合雇用推進協会	地域雇用開発、高齢者雇用、障害者雇用に関する業務	1,222	910	1,360	21	1,339	171	△30	
(公社)大分県農業農村振興公社	農地中間管理事業、農地保有合理化事業、畜産公共事業、農業人材確保・育成事業及び大分農業文化公園の管理	670	430	9,565	6,841	2,724	932	△62	
(公財)森林ネットおおいた	林業労働力の育成確保	4,268	3,200	5,205	201	5,004	738	23	
(公社)大分県漁業公社	放流用、養殖用種苗の生産販売	84	50	141	32	110	198	12	
(公財)大分県建設技術センター	土木工事の積算業務の受託	30	20	1,241	112	1,129	357	51	
(公財)暴力追放大分県民会議	暴力団排除活動の推進	610	465	631	6	625	24	1	

5. 市場公募債の発行計画

(1) 平成30年度 市場公募債発行計画

例年通り、シ団方式にて10月に10年定例債の発行、主幹事方式では昨年度に続き20年定時償還債を7月に発行した。

平成30年度 発行計画

(単位: 億円)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
共同発行市場公募債	150			50			50			20		30	
10年債	100							100					
フレックス枠 (20年定時償還債)	100				100								
発行額計	350			50	100		50	100		20		30	

(2) 個別・共同発行市場公募債の発行実績

シ団方式では毎年10月に10年債を定例発行している。主幹事方式では20年定時償還債を、昨年度・今年度ともに7月に発行した。

個別発行市場公募債の発行実績(シ団方式)

発行日	発行額	年限	表面利率	応募者利回り	対国債 スプレッド
H18.10.6	100億円	10年	1.80%	1.882%	16.4bp
H19.10.5	100億円	10年	1.87%	1.879%	16.5bp
H20.10.8	100億円	10年	1.57%	1.574%	14.0bp
H21.10.9	100億円	10年	1.35%	1.352%	9.0bp
H22.10.14	100億円	10年	0.93%	0.932%	6.0bp
H23.10.7	100億円	10年	1.00%	1.006%	3.5bp
H24.10.11	100億円	10年	0.80%	0.801%	3.5bp
H25.10.4	100億円	10年	0.68%	0.684%	4.5bp
H26.10.8	100億円	10年	0.539%	0.539%	3.0bp
H27.10.7	100億円	10年	0.476%	0.476%	15.5bp
H28.10.7	100億円	10年	0.060%	0.060%	12.5bp
H29.10.6	100億円	10年	0.205%	0.205%	16.5bp

個別発行市場公募債の発行実績(主幹事方式)

発行日	発行額	年限	平均残存年数	表面利率	応募者 利回り	スプレッド
H29.7.21	50億円	20年 (定時償還)	11.59年程度	0.459%	0.459%	9.0bp ^{*1}
H30.7.17	100億円	20年 (定時償還)	11.59年程度	0.380%	0.380%	8.0bp ^{*1}

*1 11.59年ミッドスワップレート対比でのスプレッド

共同発行市場公募債の発行実績

年度	総発行額	年限	発行月(発行額)
H20	100億円	10年	7月(50)、9月(50)
H21	200億円	10年	7月(50)、8月(50)、1月(50)、2月(50)
H22	200億円	10年	7月(50)、8月(50)、1月(50)、2月(50)
H23	200億円	10年	7月(50)、8月(50)、1月(50)、2月(50)
H24	200億円	10年	7月(50)、8月(50)、1月(50)、2月(50)
H25	200億円	10年	7月(50)、8月(50)、1月(50)、2月(50)
H26	200億円	10年	8月(50)、9月(50)、1月(50)、2月(50)
H27	200億円	10年	8月(50)、9月(50)、1月(50)、2月(50)
H28	200億円	10年	8月(50)、9月(50)、1月(50)、2月(50)
H29	150億円	10年	6月(50)、9月(30)、12月(50)、2月(20)

大分県のホームページのご案内

大分県ホームページ トップ: <http://www.pref.oita.jp/>

総務部財政課: <http://www.pref.oita.jp/soshiki/11400/>

大分県観光情報公式サイト: <https://www.visit-oita.jp/>

IR資料に関するお問い合わせ先

大分県総務部財政課

住所 大分県大分市大手町3-1-1

TEL 097-536-1111(内2357)
097-506-2354(ダイヤルイン)

FAX 097-506-1718

E-mail a11400@pref.oita.lg.jp